

アーツ前橋 年報No.09 2021年度（令和3年度）

2021年度の主な出来事

2020年 4月 1日 作品総点検の実施及び設備改修のため臨時休館

6月24日 アーツ前橋あり方検討委員会（第1回）開催

6月30日 臨時休館から再開

7月22日 「新収蔵作品展 2021－2019・2020年度収蔵作品より－」開催（～10月31日）

7月31日 アーツ前橋あり方検討委員会（第2回）開催

8月28日 アーツ前橋あり方検討委員会（第3回）開催

9月30日 アーツ前橋あり方検討委員会（第4回）開催

10月28日 アーツ前橋あり方検討委員会（第5回）開催

11月13日 「生の軌跡－Traces of Life－」開催（～2022年3月6日）

12月27日 アーツ前橋あり方検討委員会提言書を市長へ提出

目 次

2021年度の主な出来事	2
I 展覧会	5
新収蔵作品展2021 -2019・2020年度収蔵作品より-	6
生の軌跡 -Traces of Life-	7
II 地域アートプロジェクト	9
滞在制作事業概要	10
チェン・リャンシェン	11
松田啓佑	12
多文化共生プロジェクト イミグラジオ	13
III ラーニング	15
アーティスト・イン・スクール 全体概要	16
中島佑太×前橋市立宮城小学校	17
反町恭一郎×群馬県立清陵高等学校	18
表現の森 概要	19
滝沢達史×アリスの広場×ハレルワ	20
中島佑太×南橘団地	22
廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家	23
あかつきの村リサーチ	24
表現の森 実施事業一覧	25
アーツナビゲーター研修	26
あーつひろば	27
サポーター活動記録	27
メンバーシップ	28
視察・見学	29
インターンシップ	29
先生のための無料招待ウィーク	29
博物館実習	29

IV	所蔵資料	31
	2021年度 収蔵作品	32
	2021年度 修復	33
	2021年度 貸出実績	33
	2021年度 収蔵図書	33
V	運営／各事業に関する資料	35
	条例	36
	運営評議会	38
	収蔵美術品専門委員会	39
	アーツ前橋あり方検討委員会	41
	来館者数統計	43
	刊行物	44
	職員名簿	44
	展覧会出品リスト	45
	関連記事	49

- 【凡例】・《 》は、作品名を示す。〈 〉は、シリーズ名およびプロジェクト名を示す。
- ・肩書、役職などは事業実施時点のものである。
 - ・年号の標記は西暦で統一した。ただし、「V運営」は和暦で統一した。

I

展覧会

新収蔵作品展2021 — 2019・2020年度収蔵作品より —

近年の収蔵作品の中から未公開の作品を中心に、絵画、彫刻、写真、映像などの多様な作品をⅠ期（2020年度収蔵）、Ⅱ期（2019年度収蔵）の2部構成で展示した。

①地域ゆかりの作家の作品を中心にした収集

②美術館の諸活動に関連した作品の収集

③アートの創造力によって地域に貢献できる作品の収集

という3つの収集方針について示し、方針に沿った収集活動が展覧会や地域アートプロジェクト、ラーニング・プログラムなどの事業とも有機的に結びついていることを紹介するとともに、作家・作品のエピソードや修復作業などをパネルで詳しく紹介し、収蔵作品を身近に感じ、その魅力に触れる機会を創出した。

【会 期】 2021年7月22日（木・祝）～10月31日（日）
Ⅰ期 2021年7月22日（木・祝）～9月5日（日）
Ⅱ期 2021年9月11日（土）～10月31日（日）

【日 数】 88日間

【開 館 時 間】 10時から18時まで（入場は17時30分まで）

【休 館 日】 水曜日

【会 場】 アーツ前橋 ギャラリー1

【観 覧 料】 無料

【運 営】 [主催] アーツ前橋

【出 品 点 数】 32点（前期17点、後期15点）

【入 場 者 数】 3,231名

【印 刷 物】 ポスター 60部

チラシ 30,000部



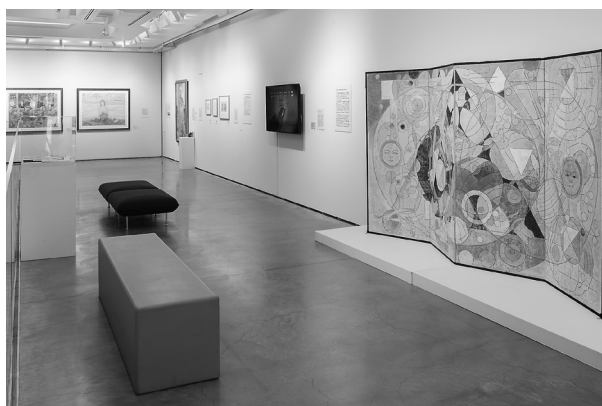
【関 連 事 業】 学芸員によるギャラリーツアー

[日時] 2022年7月31日（土）、8月21日（土）※中止、9月18日（土）※中止、10月16日（土）

[会場] アーツ前橋 ギャラリー1

[参加人数] 5名

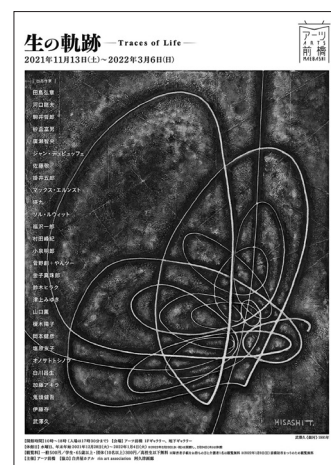
【担当学芸員】 北澤ひろみ、今井朋、井上康彦、大井田弘子、新井陽子



生の軌跡 — Traces of Life —

収蔵作品を中心に、地域ゆかりの作家の作品や県内の美術館、コレクターの所蔵作品とともに8つの章で構成し、「軌跡」をテーマに、絵画、写真、映像、立体、インスタレーションなどの多彩な作品を紹介した。「軌跡」とは文字どおり「線」そのものを示し、線によって描かれるドローイングには思考の源が表れ、線の軌道が描き出す「円」には、抽象的、幾何学的な形態のみならず、精神的なものを含めた概念や関係性を見出すことができ、また無意識の表象、あるいは行為や運動の記憶など、さまざまなかたちで表出する「軌跡」についての考察を試みた。各々の展示室では作品同士が響きあい収蔵作品の新たな魅力に触れる機会を創出した。

- 【会 期】 2021年11月13日(土)～2022年3月6日(日)
【日 数】 91日間
【開館時間】 10時から18時まで(入場は17時30分まで)
【休 館 日】 水曜日、年末年始 12月28日(水)～1月4日(火)
【会 場】 アーツ前橋
【観 覧 料】 一般500円／学生・65歳以上・団体(10名以上)300円／高校生以下無料
※障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は観覧無料
※2022年1月9日(日) 前橋初市まつりのため観覧無料
【運 営】 [主催]アーツ前橋
[協力]白井屋ホテル、rin art association、阿久津画廊
【出品点数】 118点
【入 場 者 数】 3,006名
【印 刷 物】 ポスター 60部
チラシ 30,000部
セルフガイド 4,000部



- 【関 連 事 業】 学芸員によるギャラリーツアー
[日時]2021年11月23日(火・祝)、2022年1月22日(土)、2月12日(土)※中止、3月5日(土)
[会場]アーツ前橋 ギャラリー
[参加人数]7名



鬼頭健吾 アーティスト・トーク&鑑賞ツアー

[日時]2021年12月19日(日) 15時から17時

[会場]アーツ前橋 スタジオ、地下ギャラリー、白井屋ホテル

[参加人数]20名

出品作家の鬼頭健吾による展覧会の出品作品と近隣の白井屋ホテルでの期間限定のインスタレーション、客室内の恒久設置作品について作家自らの解説で巡る鑑賞ツアー。

鈴木ヒラク レクチャーパフォーマンス&トーク

[収録日時]2022年2月14日(月) オンライン配信開始 2022年3月1日(火)

[会場]アーツ前橋 スタジオ *収録は非公開

[視聴数]200 (2020年3月末時点)

出品作家の鈴木ヒラクによるアーティスト・トークを新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンラインでの配信イベントにシフト、前半は自作について書画カメラを用いてのレクチャーパフォーマンス、後半は本展出品作品の作品解説を行った。

【担当学芸員】 北澤ひろみ、新井陽子、大井田弘子

II

地域アートプロジェクト

滞在制作事業 海外アーティスト 概要

国立現代美術館レジデンシー・コヤン（MMCA Residency Goyang／韓国）と、国立台北芸術大学関渡美術館（Kuandu Museum of Fine Arts／台湾）との「国際芸術家交流プログラム」として、双方が選出した作家の滞在制作（AIR）を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、レジデンシーコヤンとは実施を延期することに決定した。関渡美術館とは、2か年計画とし、令和4年度に渡航を含めた滞在制作を行う準備として、令和3年度はオンラインプログラムを実施した。

滞在制作事業 群馬県にゆかりのあるアーティスト 概要

6回目となった「群馬県にゆかりのあるアーティスト」を対象とした公募では1組のアーティストを募集した。

【公募期間】 2021年8月20日（金）～9月25日（土）

【公募内容】 前橋市内にある豎町スタジオにて作品制作などを行う、群馬県にゆかりのあるアーティストを募集した。

【応募数】 15件

【審査日時】 2020年8月26日（木）

【審査員】 片山真理（アーティスト）

帆足亜紀（横浜美術館国際グループ兼学芸グループ グループ長／横浜トリエンナーレ組織委員会事務局副委員長補佐）

山重徹夫（中之条ビエンナーレ総合ディレクター）

田中力（アーツ前橋館長／前橋市役所文化国際課長）

11

松田啓佑

松田啓佑はこれまで、京都を拠点に油彩ドローイングと近年は陶器を用いた作品を制作してきた。

自らの身体を「自由な状態」に保ち、それが通過する世界の情報を表現として定着させること。制作の手法を模索しつつ、松田が試みるのは、こうした「出来事」としての制作活動だと言える。

滞在期間中は、赤城山など地域の自然や、自身が幼いころ訪れた市内の様々な場所を再訪し、絵画と陶器による作品を主に制作した。



【滞 在 期 間】 2022年1月10日(月・祝)～2月13日(日)

【滞 在 場 所】 堅町スタジオ

【関 連 事 業】 成果発表展示

滞在中に制作した陶器の作品や絵画作品を中心に堅町スタジオの1、2階を使用して展示を行った。

[日時]2022年2月10日(木)～13日(日)13時から18時まで 新型コロナウイルス感染症防止の観点から入場を制限するなど、対策を行い開催した。

[会場]堅町スタジオ

アーティストトーク

過去の作品の紹介や、滞在中に制作した作品、リサーチについて発表を行った。

[日時]2022年2月11日(金・祝)16時から17時まで

[配信]アーツ前橋 Youtubeチャンネル

【コーディネーター】 NPO法人マエバシ・アート・プラクティス

【担 当 学 芸 員】 池上朋、五十嵐純、井上康彦



多文化共生プロジェクト

2019年度よりスタートした多文化共生プロジェクト。前橋市や、その近郊に住む海外にルーツを持つ人々をインターネット・ラジオ番組のゲストへ招き、彼／彼女らの日常や、ここで暮らす想いを語ってもらうことで、同じ地域に暮らしながら接点の薄かった関係性を可視化し繋げようと試みた。

彼／彼女たちがここでの生活のなかで感じたことを聴くことによって、身近なところからお互いの文化を知り、一つの街のなかで世界が少しでも広がっていくことを目指している。

群馬名物・焼きまんじゅうやベトナムの国民食バインミーを試食しながら、出身地域のローカルフードを紹介するコーナーもある。

3年間にわたるプロジェクトの最終年として、WEB版の活動報告書を発行した。



【コーディネーター】 福西敏宏、小出和彦、Thao Hoang

【開催概要】 イミグラジオ～アーツ前橋多文化放送局～

海外にルーツを持つ人々をゲストに招き、日々の出来事や想いを話してもらうインターネットラジオ。アーツ前橋の公式ホームページ (<https://www.artsmaebashi.jp/?cat=67>) で配信

[収録日] 2021年10月 (第5回目)

2021年11月 (第6回目)

2021年12月 (第7回目)

[パーソナリティ] 小出和彦、福西敏宏

[日越通訳] Thao Hoang

[音響・編集] 福西敏宏

[アシスタント] 福西みゆき

[ゲスト]

第5回目: Thao Hoang (ベトナム出身、前橋在住)

第6回目: Dieu Anh Hong (共愛学園前橋国際大学学生／ベトナム出身)

第7回目: 吉澤亜樹 (ベトナムレストラン ThyちゃんQuànオーナー)

WEB版活動報告書「immig-radio RADIO REPORT」

【印刷物】 A3版リーフレット、日越英語対応

越訳監修: Thao Hoang

英訳監修: アプリシヤス株式会社、Jalen Cox (前橋市)

【助成】 「地方創生推進交付金」(内閣府、2019-2021年)

【担当学芸員】 池上朋、新井陽子



イミグラジオ第6回目 収録風景 (ゲスト: Anhさん)



イミグラジオ第7回目 出張収録風景 (ゲスト: 亜樹さん)

III

ラーニング

〈アーティスト・イン・スクール (A. I. S)〉全体概要



アーティスト・イン・スクール (A. I. S) は平成28年度から続く学校連携の事業であり、アーティストやクリエイターを市内の小・中・高等学校へ派遣し、児童・生徒、学校の先生たちと関わりながらワークショップや授業を行ってきた。児童・生徒たちとアーティストが共同で学び、表現力や発想の豊かさ、コミュニケーション力を身につけることを目的とする。

6年目となる令和3年度は、昨年度から引き続きコロナ禍の影響により実施学校数が少ないなか、前橋市立宮城小学校と群馬県立清陵高等学校の2校で実施した。

アーティスト、学校、アーツ前橋の三者で協議を重ねながら、コロナ禍ならではの取り組みとして動画を活用しつつ事業を進めた。

- 【主 催】 アートによる対話を考える実行委員会、アーツ前橋
- 【助 成】 令和3年度 文化庁 地域と共働した博物館創造活動支援事業
- 【協 力】 前橋市立宮城小学校、群馬県立清陵高等学校
- 【印刷物等】 報告書 A4判 12ページ中綴じ 2,000部
記録映像 ダイジェスト版

中島佑太×前橋市立宮城小学校



アーティストの中島佑太が自身の活動のプレゼンテーションを行ったのち、目隠しをして絵を描くワークショップやクラスの子どもたちを2グループに分け、グループのあいだに壁を作るワークショップを実施した。

後者は、長期にわたって行われ、子どもたちの意見を反映させながら、各クラス独自の壁が制作された。多種多様な意見が出るなかで、問題を解決する力のみならず、問題を見つける力や新しい発想力が必要とされる場面が多く、子どもたちにとっても貴重な機会となった。出来上がった壁は、2022年2月24日から3月25日まで、宮城小学校内廊下に展示された。

- 【 日 時 】 2021年9月28日(火)～12月21日(火)
- 【 会 場 】 前橋市立宮城小学校 6年生教室、図工室 ほか
- 【 講 師 】 中島佑太
- 【 対 象 】 前橋市立宮城小学校 6年1組(29名)、6年2組(28名)

【担当学芸員】 大井田弘子、井上康彦、今井朋



反町恭一郎×群馬県立清陵高等学校



アーティストの反町恭一郎が、事前に活動を紹介する動画を学校に送り、大まかな概要を生徒に伝えただけで、ワークショップを実施した。反町がお題として提示した言葉を聞いて絵を描くワークショップでは、生徒たちの描いたものがそれぞれ異なっており、「コミュニケーションの複雑さ」や「他者とわかりあうことの難しさ」について考えた。生徒たちは、アーティストと共にさまざまな表現を試しながら、将来自分たちの前に立ちはだかる「答えのない問題」を解決するために必要な自己理解や他者理解について学んだ。終了後も、アーティストと話をするため体育館に残る生徒が多数おり、今回のワークショップの充実度がうかがえた。

- 【 日 時 】 2021年11月17日(水)、12月1日(水)
【 会 場 】 群馬県立前橋清陵高等学校 体育館
【 講 師 】 反町恭一郎
【 対 象 】 群馬県立前橋清陵高等学校 1年生 1組目30名、2組目32名

【担当学芸員】 大井田弘子、井上康彦、今井朋



表現の森 概要

企画展「表現の森 協働としてのアート」（2016年7月22日～9月25日）をきっかけに始まったアーティストと前橋市内にある施設や団体が協働する5つのプロジェクト。2021年度も継続事業として6年目の活動を行った。

「表現の森」の協働先は、福祉施設／団体が多く、これまでは施設などでのワークショップを中心に行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、プログラムの大きな変更を余儀なくされた。

これまで対面で行ってきたプログラムをどのように継続できるのかを作家と施設職員の方たちや関連する団体の方たちと話し合いながら、対面／オンラインなどを併用しながらプログラムを行った。

文化庁助成金の最終年度となることから、アーツ前橋の主催事業としての「表現の森」は、2021年度が最後となった。今後は、地域のNPO、企業等と連携しながら、それぞれのプロジェクトが自走をしていく予定である。

- 【 主 催 】 アーツ前橋
- 【 共 催 】 アートによる対話を考える実行委員会
- 【 助 成 】 令和3年度 文化庁 地域と協働した博物館創造活動支援事業
- 【 協 力 】 社会福祉法人清水の会 デイサービスセンターえいめい
NPO法人ぐんま若者応援ネット アリスの広場
セクシュアルマイノリティ支援団体 ハレルワ
南橋町自治会
社会福祉法人上毛愛隣社 のぞみの家
社会福祉法人 フランシスコの町 あかつきの村
- 【 協 賛 】 増田煉瓦株式会社
- 【 印 刷 物 等 】 表現の森特設サイト <https://www.artsmaebashi.jp/FoE/>

滝沢達史×アリスの広場×ハレルワ



2019年度に始動したアリスの広場（不登校・引きこもりの経験のある若者の支援団体）とハレルワ（LGBTQ支援団体）の共同拠点である「まちのほけんしつ」は、新型コロナウイルスの影響により予定よりも遅れながらも、2021年7月に無事オープンを迎えた。

2020年度から始まったオンラインチャンネルである「まちほけチャンネル」では、これからの拠点づくりと一緒に考えるためのゲストを迎え、全3回のプログラムを開催した。

また、アリスの広場の若者たちと展覧会を訪れる「アリス美術部」、年度最後のイベントには「まちほけライブ」を開催した。

【活動期間】 2021年9月22日（水）～2022年2月13日（日）全7回

【アーティスト】 滝沢達史

【連携先】 NP0法人 ぐんま若者応援ネット アリスの広場
セクシュアルマイノリティ支援団体 ハレルワ

【コーディネーター】 天羽絵莉子

【関連イベント】 第5回まちほけチャンネル「生きづらさを抱えた時の居場所づくり、まちほけのこれから」

アリスの広場とハレルワがともにオリオン通りに拠点を作るきっかけとなった「表現の生態系」展（2019年、アーツ前橋）から拠点のオープンまでさまざまな形で拠点作りをサポートしたあかたちかことブブ・ド・ラ・マドレーヌとこの場所の未来について話した。

【日時】2021年9月23日（木・祝）15時30分から17時

【会場】まちのほけんしつ

【ゲスト】あかたちかこ（性とその周辺のなんでも屋、京都精華大学、大阪人間科学大学講師）、ブブ・ド・ラ・マドレーヌ（アーティスト時々ドラッグクイーン）

【スピーカー】滝沢達史（表現の森アーティスト）、佐藤真人（アリスの広場代表）、間々田久渚（ハレルワ代表）、天羽絵莉子（表現の森コーディネーター）

【番組アーカイヴ】<https://www.youtube.com/watch?v=FyIG3S7Pfs4>

第6回まちほけチャンネル「自分のための働く場所の作りかた」

子育てや女性の働き方を考え新しい仕事のスタイルを提案し続ける「株式会社はたらクリエイト」代表の井上拓摩から、社会ではなく個人に合わせたワークスタイルの生み出し方についてお話いただいた。

[日時]2021年12月12日(日) 15時30分から17時

[会場]まちのほけんしつ

[ゲスト]井上拓摩(株式会社はたらクリエイト代表)

[番組アーカイヴ]<https://www.youtube.com/watch?v=CicvubKR-SY>

第7回まちほけチャンネル「それぞれの自分らしい表現」／ライブ

今回が初めての開催となるライブイベントのゲストでは、VOQと松本力をお呼びし、ライブ前の準備体操トークを展開。ライブでは、前日に開催した。

「アリス美術部」で、参加者が描いたアニメーションを松本力のアニメーションと混在させた映像を背景に、VOQが歌声を披露、オンラインでのライブ配信を行った。

[日時]2021年2月13日(日) トーク：15時30分から17時、ライブ：18時から19時

[会場]まちのほけんしつ、マエバシワークス

[ゲスト]松本力(絵描き、映像(アニメーション)作家)、VOQ(音楽家)

[番組アーカイヴ]<https://www.youtube.com/watch?v=ulL-gZt8NZg&t=0s> (トーク)、
<https://www.youtube.com/watch?v=4WL6rysMQT8> (ライブ)

【印刷物】表現の森特設サイト記事掲載 <https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project02/>

【参加人数】78名 ※「まちほけチャンネル」の参加者数はゲストおよびスタッフ数のみカウント

【担当学芸員】今井朋



中島佑太×南橘団地



公営団地である南橘団地における活動は、新型コロナウイルスの影響を大きく受けながらも、全6回のワークショップを開催した。

2020年度もコロナ禍により対面でのワークショップ等の開催は難しかったが、2021年度はオンラインと対面を組み合わせながら、子どもたちとの映画製作を行った。2020年度のプログラムで出会った高齢者の方の中に、東吾妻町から南橘団地に引っ越してきた方がいたことから、子どもたちと東吾妻町をリサーチし、撮影素材を集め、最終的に映画編集を行い、オンラインでの自主映画上映会を開催した。

【活動期間】2021年10月12日(火)～2022年2月26日(土)全6回

【アーティスト】中島佑太

【連携先】南橘町自治会

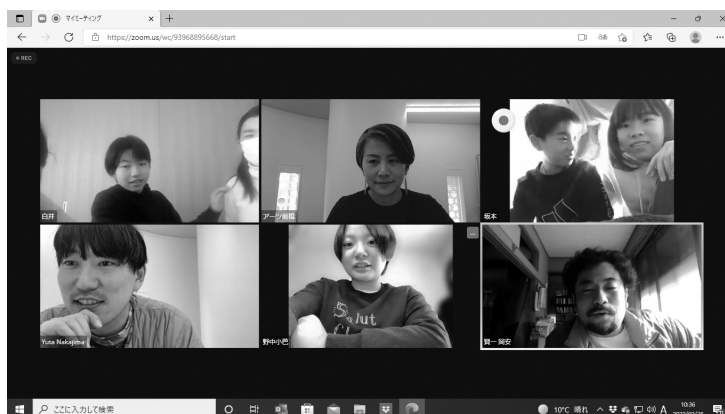
【映像撮影講師】岡安賢一

【印刷物】表現の森特設サイト記録掲載

<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project03/>

【参加人数】51名

【担当学芸員】今井朋



廣瀬智央・後藤朋美×のぞみの家



2016年度から始動した〈タイムカプセルプロジェクト〉は2035年まで、のぞみの家／アーティスト／アーツ前橋が交流を続けるプログラム。6年目の活動となった2021年度は、2020年度に続きコロナ禍により施設内でのワークショップの開催が困難となったが、施設長や施設のスタッフらと一緒に直接的な接触を避けながらも、これまでのような活動をどのように継続することができるのかを考えた。毎年、恒例となった秋のタイムカプセル記念日には、増田煉瓦株式会社に協力していただき、ご希望するご家庭へピザのデリバリーを行った。

また、ピザと一緒に「心の花」を1家庭に2本（1本はご家庭保管用、もう1本はお花に名前を付けてアーツ前橋へ返信用）配布した。

1月には、アーティストの後藤朋美と子どもたちで前橋公園へ出かけていき、空の写真を撮影し、ミラノの廣瀬智央へ郵送した。

【活動期間】 2021年10月4日（月）～2022年1月27日（木）

【アーティスト】 廣瀬智央、後藤朋美

【連携先】 社会福祉法人上毛愛隣社 のぞみの家（母子生活支援施設）

【コーディネーター】 福西敏宏

【協力】 増田煉瓦株式会社

【印刷物】 ポスター A3版 2種 のぞみの家掲出用
表現の森特設サイト記録記事掲載
<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project04/>

【参加人数】 48名

【担当学芸員】 今井朋

タイムカプセルProject

11/10

(水) 17:30～

タイムカプセル記念日・食のイベント

本格ピZZァをご家庭に
お届けします！

当日、増田煉瓦さんから焼きたてのピZZァを
のぞみの家のテントでお届けします！

出来立てピZZァをお届けします。
当日、ご都合が合わない場合は職員室でお預かりもできます。
後日、温めてお召し上がりください。

受け渡し場所：のぞみの家のテント 参加対象者：全員
お届けする人：アーティスト 廣瀬さん・後藤さん（ごっくん）、
今井さん（ぽんた）、福西さん

申し込みは、10月31日（日）まで！
配布した Pizza Book の2ページ目にある
ピZZ注文書に希望枚数を記載して、職員さんへ
または窓下のポストに投函してください！

大ノリ

大ノリ

あかつきの村リサーチ



2016年度から行っている「表現の森」事業において、社会福祉法人 フランシスコの町 あかつきの村では、これまでアーティストのPort B／高山明とともにあかつきの村の歴史をリサーチしながら、2016年の「表現の森 協働としてのアート」展での《前橋聖務日課》、2019年の「表現の生態系 世界との関係をつくりかえる」展での《あかつきの村ウォーク》を作品として発表してきた。あかつきの村は、日本でほぼ唯一の精神疾患のあるインドシナ難民を受け入れてきた施設であり、その歴史を作品のみならず、書籍として残すことが今後重要と考えられることから、2022年度以降の書籍化を目指し、2021年度は関係者との勉強会を行った。

2016年の「表現の森 協働としてのアート」展の際に、Port B／高山明の共同研究者としてプロジェクトに参加した猪股剛(帝塚山学院大学人間科学部心理学科准教授)と2019年の「表現の生態系 世界との関係をつくりかえる」展において、プロジェクトコーディネーターとして《あかつきの村ウォーク》に関わった福西敏宏を中心に、あかつきの村の歴史を関係者にヒアリングを行った。また、今後の出版の可能性を視野に入れ、梅原志歩(株式会社左右社編集部)をプロジェクトメンバーに加え、今後の書籍の方向性を共に考えていく。

【活動期間】 2022年1月16日(日)～2022年3月3日(木)

【リサーチャー】 猪股剛、福西敏宏、梅原志歩

【連携先】 社会福祉法人 フランシスコの町 あかつきの村

【印刷物等】 表現の森特設サイト記録記事掲載
<https://www.artsmaebashi.jp/FoE/projects/project05/>

【参加人数】 51名

【担当学芸員】 今井朋



表現の森 実施事業一覧

日付	曜日	時間	イベント名	講師／出演者	会場	参加人数
2021/ 9/22	水	11:00～17:00	ゆったりアウトドア	滝沢達史	赤城山小沼	12
2021/ 9/23	木	15:30～17:00	第5回まちほけチャンネル	ブブ・ド・ラ・マドレーヌ、あかたちかこ、 滝沢達史、天羽絵莉子、間々田久渚	まちのほけんしつ	12
2021/10/12	火	19:00～20:00	南橘団地オンラインワークショップ	中島佑太、岡安賢一	アーツ前橋	8
2021/10/23	土	9:00～17:00	南橘団地ワークショップ	中島佑太、岡安賢一	東吾妻町	8
2021/10/24	日	9:00～17:00	南橘団地ワークショップ	中島佑太、岡安賢一	東吾妻町	9
2021/11/10	水	17:30～19:00	のぞみの家ピザワークショップ	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	38
2021/12/11	土	13:00～16:00	ゆったりアーツ	滝沢達史	river to river 展	10
2021/12/12	日	15:30～17:00	第6回まちほけチャンネル	井上拓摩、滝沢達史、天羽絵莉子、 間々田久渚、佐藤真人	まちのほけんしつ	12
2021/12/19	日	10:00～16:00	南橘団地ワークショップ	中島佑太、岡安賢一	南橘公民館	8
2022/ 1/ 5	水	13:30～15:30	のぞみの家空のワークショップ	廣瀬智央、後藤朋美	のぞみの家	10
2022/ 1/ 8	土	10:00～16:00	南橘団地ワークショップ	中島佑太、岡安賢一	南橘公民館	8
2022/ 1/16	日	13:00～18:00	あかつきの村インタビュー	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	あかつきの村	6
2022/ 1/24	月	10:00～15:00	あかつきの村インタビュー	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	オンライン	6
2022/ 1/29	土	19:30～21:30	あかつきの村インタビュー	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	オンライン	6
2022/ 2/12	土	13:00～15:30	アリス美術部	松本力、滝沢達史	アリスの広場	11
2022/ 2/13	日	15:30～17:00	第7回まちほけチャンネル	松本力、VOQ、滝沢達史、天羽絵莉子、 間々田久渚	まちのほけんしつ	10
2022/ 2/13	日	18:00～19:00	まちほけライブ	松本力、VOQ	マエバシワークス	11
2022/ 2/15	火	13:30～19:00	あかつきの村リサーチ	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	あかつきの村	6
2022/ 2/16	水	9:30～15:30	あかつきの村リサーチ	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	あかつきの村	7
2022/ 2/17	木	9:00～19:30	あかつきの村リサーチ	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	あかつきの村	10
2022/ 2/26	土	10:00～12:00	南橘団地オンラインワークショップ	中島佑太、岡安賢一	オンライン	10
2022/ 3/ 3	木	9:00～16:00	あかつきの村リサーチ	猪股剛、梅原志歩、福西敏宏	あかつきの村	10

アーツナビゲーター研修

アーツ前橋サポーター活動の一プログラムとして、来館者と共に対話型作品鑑賞を行うボランティアガイド「アーツナビゲーター」を育成するための研修プログラム。

研修では、グループワークを基本に作品鑑賞の意義やガイドプランの作成方法などを実際に体験しながら習得し、作家・作品情報などの専門知識に頼らない鑑賞方法について学びを深めた。

昨年度に続き、オンラインを併用することでできる限り研修実施の可能性を模索した。また、今年度より導入した「アトリエ訪問」では、收藏作家の制作現場を見学しながら、実際に作家と言葉を交わすことで、作家・作品への理解を深められる貴重な機会となった。

【主 催】 アーツ前橋

【講 師】 齊藤佳代

【参加人数】 のべ44名

【担当学芸員】 辻瑞生、大井田弘子、新井陽子



アーツナビゲーター研修（アトリエ訪問）



アーツナビゲーター研修（11月21日）

【活動履歴】

日付	曜日	時間	内容	講師／出演者／解説者	会場	参加人数
2021/ 8/21	土	10:30～16:00	実践研修（ファシリテーション・コーチング）	齊藤佳代、大井田弘子、新井陽子	アーツ前橋	5
2021/ 9/18	土	13:00～16:00	中之条ビエンナーレ関連イベント「中之条芸術大学 @グンダイビジュツ」参加 ディスカッション		オンライン	6
2021/10/15	金	16:00～16:30	えいめいオンライン鑑賞会	木村祐子	オンライン	3
2021/10/16	土	10:00～16:00	「新收藏作品展 2021」担当学芸員によるギャラリートーク 実践研修（ファシリテーション・コーチング）	齊藤佳代、大井田弘子、 新井陽子		5
2021/11/20	土	14:00～16:00	所蔵作家アトリエ訪問①（熊井淳一）	熊井淳一	作家アトリエ	3
2021/11/21	日	13:00～16:00	「生の軌跡ー Traces of Life ー」担当学芸員による ギャラリートーク 実践研修（ファシリテーション・コーチング）	齊藤佳代、北澤ひろみ、 大井田弘子、新井陽子	アーツ前橋	5
2021/12/18	土	10:30～16:00	実践研修（ファシリテーション・コーチング）	齊藤佳代、大井田弘子、新井陽子	アーツ前橋 スタジオ	3
2022/ 2/18	土	14:00～14:30	おしゃべりアートデイズ①	アーツナビゲーター	アーツ前橋	2
2022/ 2/19	土	14:00～16:00	所蔵作家アトリエ訪問②（村上早）	村上早	作家アトリエ	2
2022/ 2/20	日	11:00～11:30	おしゃべりアートデイズ②	アーツナビゲーター	アーツ前橋	2
2022/ 3/18	金	10:00～16:00	年度末個人面談①	齊藤佳代、辻瑞生、 大井田弘子、新井陽子	アーツ前橋、 オンライン併用	8
2022/ 3/19	土	10:00～16:00	年度末個人面談②			

あ一つひろば

アーツ前橋で作品を鑑賞したり、工作を楽しんだり、アーティストと一緒に活動したりと「ひろば」のようにいろいろな体験ができるプログラム。

子どもから大人まで誰もが気軽に、アーティストや開催中の展覧会や季節の行事と連動したプログラムで、幅広い表現を体験できる。

本年度は、昨年度から続くサポーターとアーティストが協働で企画した長期プログラムのワークショップを実施した。

【関連イベント】 第1回あ一つひろば

[日時]2021年11月14日(日) 13時から16時

[参加人数]13名

プログラム：「機織り（はたおり）のオノマトペ」

[講師]西岳拓貴

2020年12月からサポーター、アーティスト、アーツ前橋スタッフによる協働企画として始まった長期的なプロジェクト。あ一つひろばの開催にあたり、ミーティングや実験を重ねながらアイデアを出し合って、一人では動かせないくらいの巨大な機織り機を作り、数名で力を合わせて動かすような機織りワークショップをやってみようというアイデアがまとまった。2020年度に予定していたワークショップは新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、1年後の開催となった。

参加者は事前にオンラインでリモートワークショップに参加して機織りで織り込む素材を作り、当日はサポーターが準備した横糸と共に織り込んで、ユニークで鮮やかな織物が完成した。

[展示期間]2021年11月25日(木)から2022年1月5日(水)



【印刷物】 チラシ A4版

【担当学芸員】 大井田弘子、今井朋



サポーター活動記録

日付	曜日	内容
2021/10/31	日	あ一つひろば×サポーター共同企画「機織りのオノマトペ」事前リモートワークショップ
2021/11/14	日	あ一つひろば×サポーター共同企画「機織り（はたおり）のオノマトペ」

メンバーシップ（2022年3月末日現在）

【会 員 数】 一般会員：52名（男30名、女22名／県内48名、県外4名）
 ペア会員：13組
 賛助会員：0名
 法人会員：16社

【会 員 対 象 事 業】 メンバーシップ会員向け 展覧会&白井屋ホテルアート
 作品鑑賞ツアー
 [日時]2022年3月5日(土)16時から18時 3月6日(日)16
 時から18時
 [参加者数]10名
 [協力]白井屋ホテル

【印 刷 物】 会報
 vol. 14 2021年11月発行
 vol. 15 2022年3月発行

【担 当】 北澤ひろみ、新井陽子、宇田春奈



会員向けツアー

視察・見学

日付	時間	団体名(団体解説)	人数
9月24日(金)	9:30	前橋市立前橋高等学校(まちなかりサーチ)	5
10月 7日(木)	10:00	静岡文化芸術大学(南橋団地の取り組み)	1
10月 9日(土)	14:00	TEGAMI あれから10年「それぞれの十年展」参加者	4
10月10日(日)	15:00	TEGAMI あれから10年「それぞれの十年展」参加者	4
10月21日(木)	11:30	清心幼稚園	10
11月 9日(火)	14:00	前橋市立桃井小学校(中心市街地見学インタビュー)	6
11月19日(金)	18:00	中心商店街関係者ガイドツアー	18
11月23日(火)	13:00	群馬大学	4
12月 7日(火)	15:00	高崎経済大学	3

インターンシップ

日付	参加大学	人数
9月21日(火)～2022年1月25日(火)	共愛学園前橋国際大学	1

先生のための無料招待ウィーク

期間	展覧会名	参加人数
12月18日(土)～2022年1月9日(日)	生の軌跡 — Traces of Life —	5

博物館実習

期間	人数
8月19日(木)～8月21日(土)、8月23日(月)～8月25日(水)	5

IV

所藏資料

2021年度 収蔵作品（2021年4月1日 — 2022年3月31日）

	H24 年度 以前	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元 年度	R 2 年度	R 3 年度	合計
絵画	423	36	6	2	23	45	12	30	22	0	599
水彩・素描・下図	62	0	3	1	0	1	0	8	0	0	75
版画	0	4	0	0	0	0	0	2	10	0	16
写真	0	0	10	0	38	9	16	0	6	0	79
彫刻・立体ほか	2	5	27	3	3	6	6	2	9	0	63
メディアアート	0	1	0	2	0	2	1	2	11	0	19
工芸	32	0	0	3	0	3	0	0	0	0	38
書	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
	519	46	46	11	64	73	35	44	58	0	896

アーツ前橋における作品紛失を誘発した原因の一つである、作品の管理体制の問題点についての検証、収蔵作品の管理、保管状況の正確な把握のため、アーツ前橋所蔵作品の総点検として全保管場所における所在確認を実施した。

【作業内容】 作品所在確認：アーツ前橋収蔵庫、一時保管庫、展示中の市有施設等において所在確認を実施
台帳突合作業：財務会計システム上の備品データや収蔵作品管理システム上のデータと統合し、
入力漏れや所管替え手続きの漏れなどを確認

【実施期間】 点検作業計画（作業フロー、日程調整、人員配置） 2021年5月14日～5月18日
点検用リスト抽出・精査 2021年5月18日～5月26日
各保管場所での確認作業 2021年5月28日～6月25日
リスト照合・データ反映 2021年6月28日～6月30日
所在不明作品の再点検 2021年7月1日～9月17日
リスト統合、総点検作業報告書作成 2021年9月21日～10月15日

【担当】 学芸：北澤ひろみ、新井陽子、大井田弘子、井上康彦、今井朋、池上朋
事務：堺大輔、塚田康之介

2021年度 修復

作者名	作品名	材質・技法	修復者	修復内容	期間
榎木陽子	シティランナー	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	写真撮影、調査記録、付着物除去	2021年11月9日
正田壤	遠い花火	油彩、シェルマチエール、カンヴァス	有限会社修復研究所21	写真撮影、調査記録、浮き上がり接着、画面洗浄、裏面清掃・殺菌、補彩	2022年2月28日～2022年3月31日
高橋武	畑・田園	油彩、岩絵具、板	有限会社修復研究所21	写真撮影、調査記録、乾式洗浄、裏面清掃・殺菌、補彩	2022年2月28日～2022年3月31日
高橋武	図	水彩、木製パネル	有限会社修復研究所21	写真撮影、調査記録、乾式洗浄	2022年2月28日～2022年3月31日
田中恒	エスパニアの詩	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	写真撮影、調査記録、浮き上がり接着、充填整形、補彩	2022年2月28日～2022年3月31日
中村節也	インディアン遺跡	油彩、カンヴァス	有限会社修復研究所21	写真撮影、調査記録、浮き上がり接着、充填整形、補彩	2022年2月28日～2022年3月31日

2021年度 貸出実績

作者名	作品名	展覧会名／会場	期間／会期
中村節也	尾瀬の花	前橋テルサ	2021年4月1日(木) ～ 2022年3月31日(木)
中村節也	アルハンブラ宮殿(スペイン)	前橋テルサ	2021年4月1日(木) ～ 2022年3月31日(木)
深谷徹	赤城山夏	前橋テルサ	2021年4月1日(木) ～ 2022年3月31日(木)
笠木實	邑		
笠木實	OUIとNON		
笠木實	てふてふ		
笠木實	演奏者		
笠木實	風船を売る男	心からのおくりもの 同時開催 生誕100年 笠木實と清宮質文／高崎市美術館	2021年4月9日(金)～6月18日(金)
笠木實	遊蝶の道		
笠木實	雪の道		
三輪途道	普通のありようー秀真	メモリーズ／高崎市美術館	2021年6月26日(土)～8月22日(日)
三輪途道	普通のありようー雅舞蒨		
三輪途道	小声で話す		
三輪途道	道傍の人	三輪洗旗・途道展ー富岡から世界を紡ぐー／ 富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館	2021年9月11日(土)～11月7日(日)

2021年度 収蔵図書

区分	冊数
図書	2, 173
展覧会カタログ	4, 017
逐次刊行物	5, 383
映像資料	36
合計	11, 609

V

運営／各事業に関する資料

アーツ前橋条例

○アーツ前橋の設置及び管理に関する条例

平成25年6月25日

条例第35号

(設置)

第1条 美術を中心とした多様な表現活動を広く市民に紹介し、芸術文化を通じた交流の場を提供するとともに、質の高い芸術文化事業の運営を市民参画により実現し、もって未来へ向けた創造と魅力あるまちづくりを市民とともに推進するため、本市にアーツ前橋を設置する。

(名称及び位置)

第2条 アーツ前橋の名称及び位置は、次のとおりとする。

- (1) 名称 アーツ前橋
- (2) 位置 前橋市千代田町五丁目1番16号

(事業)

第3条 アーツ前橋は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 芸術文化に関する作品その他芸術文化に関する資料（以下「作品等」という。）の収集、保管、展示及び閲覧に関すること。
- (2) 作品等の利用に関し、必要な助言及び指導を行うこと。
- (3) 作品等に関する調査、研究及び情報交換を行うこと。
- (4) 多様な芸術に関する展覧会、講演会、公演、研究会等を行うこと。
- (5) 芸術に関する案内書、解説書、年報、調査報告書等を作成し、及び頒布を行うこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、アーツ前橋の設置の目的を達成するために必要なこと。

(企画等を行う組織)

第4条 アーツ前橋に市民参画により芸術文化事業の企画、運営及び評価を行うための組織を置く。

2 前項の組織に関し必要な事項は、市長が別に定める。

(職員)

第5条 アーツ前橋に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(観覧料)

第6条 アーツ前橋に展示されている作品等を観覧しようとする者（第8条において「観覧者」という。）は、観覧の際、別表に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第7条 学術研究等のため、アーツ前橋に展示され、又は所蔵されている作品等を閲覧、撮影、模写、模造等（以下これらを「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、アーツ前橋の管理上必要があると認めるときは、前項の規定による特別利用の許可に際し、条件を付することができる。

(利用等の制限)

第8条 市長は、観覧者又は特別利用をする者（以下「利用者等」という。）が、次の各号のいずれかに該当するときは、アーツ前橋の観覧若しくは特別利用を中止させ、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
 - (2) アーツ前橋の施設、附属設備（第11条において「施設等」という。）又は作品等を汚損、破損又は亡失するおそれがあると認められるとき。
 - (3) その他管理上の支障があると認められるとき。
- 2 市長は、入館者（利用者等を除く。）が前項各号のいずれかに該当するときは、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

（観覧料の不還付）

第9条 納付した観覧料は、還付しない。ただし、利用者等の責めに帰することができない理由により観覧することができなくなったときは、この限りでない。

（観覧料の減免）

第10条 市長は、特別な理由があると認めるときは、観覧料を減額し、又は免除することができる。

（損害賠償）

第11条 利用者等は、作品等や施設等を汚損し、破損し、又は亡失したときは、原状に回復しなければならない。ただし、原状に回復することができないときは、市長の認定する額を賠償しなければならない。

（委任）

第12条 この条例の施行に関し必要な事項は、市規則で定める。

附則

- 1 この条例は、平成25年7月1日から施行する。
- 2 アーツ前橋の観覧料は、第6条の規定にかかわらず、平成25年10月25日までの間は、無料とする。

別表（第6条関係）

区 分		観覧料（1人1回につき）	
		個 人	団 体
常設の展示を行っている場合	一般・大学生	100円	80円
	小学生・中学生・高校生	無料	
特別の企画による展示を行っている場合		1,500円以内で市長が定める額	

摘要

- 1 「一般・大学生」とは、「小学生・中学生・高校生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「小学生・中学生・高校生」とは、19歳未満の者のうち、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校若しくは特別支援学校に在学する児童若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 小学校に就学するまでの者は、無料とする。
- 4 団体とは、10人以上のものをいう。

アーツ前橋運営評議会

【開催記録】 2021年度（令和3年度）は、「アーツ前橋あり方検討委員会」において今後の運営等について再検討を行う期間とし、運営評議会は開催しなかった。

【設置要綱】（設置）

第1条 アーツ前橋の運営方針や事業計画について意見を聴くため、アーツ前橋運営評議会（以下「評議会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 評議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、識見を有する者のうちから市長が委嘱する。

（任期）

第3条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長及び副委員長）

第4条 評議会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総括し、評議会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 評議会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 評議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 評議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（意見の聴取等）

第6条 評議会は、必要があると認めたときは、評議会の会議に関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（庶務）

第7条 評議会の庶務は、アーツ前橋において行う。

（その他）

第8条 この要綱に定めるもののほか、評議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成25年7月1日から施行する。

この要綱は、平成27年6月16日から施行する。

収蔵美術品専門委員会

【委 員】

氏 名（順不同）	所 属
染 谷 滋	元富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館長
野 地 耕一郎	泉屋博古館東京館長
武 居 利 史	府中市美術館 教育普及担当主査
大 越 久 子	埼玉県立近代美術館 主席学芸主幹

【開催記録】 令和3年度は未開催。

【設置要綱】（設置）

第1条 前橋市の所蔵美術品等（以下「美術品」という。）を適正に取得・収蔵するため、前橋市収蔵美術品専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第2条 専門委員会は、市長の諮問に応じて、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 美術品の評価に関すること。
- (2) 美術品の選定に関すること。
- (3) その他美術に係る専門的事項に関すること。

（組織及び委員）

第3条 専門委員会は、4人以内の委員をもって組織する。

2 委員は、美術に関する専門的知識を有する者とし、市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 市長は、必要があるときは専門的分野の案件に関して審議するため、臨時委員を委嘱することができる。

（委員長）

第4条 専門委員会に委員長を置く。

2 委員長は、会務を総理し、審議の結果を市長に報告する。

3 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

（会議）

第5条 会議は、必要に応じ、委員長が招集する。

（部会）

第6条 委員会に、必要に応じ部会を置くことができる。

（守秘義務）

第7条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。

(庶務)

第8条 専門委員会の庶務は、前橋市文化スポーツ観光部文化国際課アーツ前橋において行う。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、専門委員会の運営に関して必要な事項は、委員長が専門委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成19年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年1月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

アーツ前橋あり方検討委員会

【委 員】

	氏名（五十音順）	所 属
委 員	青 野 和 子	原美術館ARC館長
委 員	大 橋 慶 人	前橋中央通り商店街振興組合理事長
委 員	金 井 訓 志	元前橋の美術実行委員会委員長・画家
委 員	小 池 藍	GO FUND, LLP代表パートナー、京都芸術大学芸術学部専任講師
委 員	小 坂 和 成	前橋市行政管理課長
委 員	小 山 登美夫	小山登美夫ギャラリー株式会社代表取締役社長
委 員	島 敦 彦	国立国際美術館館長
委 員	田 中 力	前橋市文化国際課長兼アーツ前橋館長
委 員 長	中 島 信 之	元前橋市芸術文化施設運営検討委員会委員長
委 員	中 村 ひろみ	演劇プロデュースとろんぷ・るいゆ主宰
委 員	野 本 文 幸	特定非営利活動法人まやはし代表、アーツカウンシル前橋委員
委 員	萩 原 朔 美	水と緑と詩のまち前橋文学館館長
副委員長	渡 辺 秀 人	株式会社渡辺広報事務所代表取締役

【開 催 記 録】

回	日 程	時 間	場 所	内 容
第1回	6月24日 (木)	14:00～ 16:00	前橋市役所 11階北会議室 (オンライン併用)	○委員長／副委員長選任 ○委員会の進め方 ○開館8年間の共有（アーツ前橋設置に至る経過、アーツ前橋事業概要） ○作品紛失事案と調査報告書における提言の共有 ○紛失事案から明らかになった館運営における問題点の共有
第2回	7月31日 (土)	14:00～ 16:00	前橋市役所 11階北会議室 (オンライン併用)	○旧二中・収蔵庫等の状況の追加説明 ○再発防止に向けた意見交換① ・適正な作品管理について ・ガバナンスの強化について（コンプライアンス、リスクマネジメント、美術館における組織運営）
第3回	8月28日 (土)	14:00～ 16:00	前橋市役所 11階北会議室 (オンライン併用)	○再発防止に向けた意見交換② ・適正な作品管理（保管場所・作品管理）について ・ガバナンスの強化について（コンプライアンス、リスクマネジメント、美術館における組織運営）
第4回	9月30日 (木)	14:00～ 16:00	前橋市役所 11階北会議室 (オンライン併用)	○今後のアーツ前橋に向けた意見交換 ○館長選任に向けた意見交換
第5回	10月28日 (木)	14:00～	前橋文学館 3階ホール	○報告書（提言書）（案）の確認
報 告	12月27日 (月)	14:00～	前橋市役所 4階秘書課応接室	○提言書を前橋市長へ提出

【設置要綱】（設置）

第1条 アーツ前橋で発生した作品の紛失事案を受け、中長期的なアーツ前橋のあり方を検討するアーツ前橋あり方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 委員会の所掌事務は、次の各号に掲げるものとする。

- （1）開館後の活動を振り返り、アーツ前橋の現状と課題を整理すること
- （2）中長期的なアーツ前橋のあり方の検討に関すること
- （3）上記（1）（2）をまとめた報告書の作成に関すること。
- （4）その他委員会が必要と認める事項

（組織）

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び委員（以下「委員等」という。）をもって組織する。

2 委員等は、別表に掲げる者をもって充てる。

（任期）

第4条 委員の任期は、令和3年6月24日から令和3年10月29日までとする。ただし、必要に応じて延長することができる。

（委員長の職務等）

第5条 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

（招集及び委員会）

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長は、必要があると認めたときは、委員等以外の者に出席を求めることができる。

（守秘義務）

第7条 委員その他委員会の会議に出席した者は、当委員会において知り得た秘密を他に漏らしはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

（庶務）

第8条 この委員会の庶務は、文化スポーツ観光部文化国際課が処理するものとする。

（委任）

第9条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施について必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、令和3年6月24日から施行する。

来館者数統計

2021年度月別来館者数

アーツ前橋総来館者数

51,952

年月	来館者数 (A) = (C) + (D) + (B) + (E) + (F) + (H) + (I)										開館日数		
	展覧会観覧者数 (C) + (D)					館外 イベント 参加者数 (B)	交流 スペース (E)	アーカイヴ (F)	カフェ (H)	ショップ (I)	展覧会開催日数		
	展示室 (C)	展示室外 イベント (D)											
			(内) 有料 展示室										
2021年 4月	3,318	0	0	(0)	0	0	1,808	109	667	734	26	0	0
5月	3,149	0	0	(0)	0	0	1,735	29	610	775	27	0	0
6月	3,447	0	0	(0)	0	0	1,928	43	601	875	25	0	0
7月	4,230	424	424	(0)	0	0	1,815	190	775	1,026	27	9	0
8月	4,253	923	923	(0)	0	0	1,534	24	726	1,046	27	27	0
9月	4,709	824	824	(0)	0	83	2,032	0	689	1,081	25	25	0
10月	5,411	1,060	1,060	(0)	0	91	2,091	169	737	1,263	27	27	0
11月	5,595	690	690	(489)	0	224	2,270	303	815	1,293	26	16	16
12月	4,751	721	721	(589)	0	211	1,866	139	769	1,045	23	23	23
2022年 1月	4,229	661	661	(598)	0	36	1,668	142	683	1,039	23	23	23
2月	4,179	684	684	(640)	0	151	1,614	197	646	887	24	24	24
3月	4,681	250	250	(237)	0	16	2,198	218	839	1,160	26	5	5
合 計	51,952	6,237	6,237	(2,553)	0	812	22,559	1,563	8,557	12,224	306	179	91

展覧会別観覧者数

展覧会名	会 期	開催日数 (日)	観覧者数 (人)		
			展示室	展示室外イベント	合計
新収蔵作品展2021 -2019・2020年度 収蔵作品より-	令和3年7月22日～令和3年10月31日	88	3,231	0	3,231
生の軌跡-Traces of Life	令和3年11月13日～令和4年3月6日	91	3,006	0	3,006
合 計			6,237	0	6,237

刊行物

□&Arts アンドアーツ
第20号 令和3年3月31日発行
A1判 変形折り(仕上がりA4判縦)2,500部

□アーツ前橋 年報No. 08 2020年度(令和2年度)
A4判 66頁 250部



職員名簿（令和3年4月1日から令和4年3月31日）

館 長	田中 力
副館長	徳野 裕一
副主幹	堺 大輔
主 任	狩野 良輔
主 事	塚田 康之介
主 事	加藤 詩織
学芸員	辻 瑞生
学芸員	今井 朋
学芸員	五十嵐 純
学芸員	池上 朋 9月30日まで
主 席学芸員	北澤 ひろみ
学芸員	大井田 弘子
学芸員	井上 康彦
学芸員	新井 陽子
嘱託員	宇田 春菜

展覧会出品リスト

展覧会出品リスト

新収蔵作品展2021

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横×奥行: cm)	所蔵
1	塩原友子	日月曼荼羅図屏風	1983年	紙本着色	174.5×312.0	アーツ前橋
2	イルワン・アーメット& ティタ・サリナ	苦痛への信仰 (FAITH IN PAIN)	2017-2019年	シングルチャンネルビデオ	3分18秒	アーツ前橋
3	河口龍夫	消去された時間	1963年	エッチング、紙	20.0×36.0	アーツ前橋
4	河口龍夫	命の時間	1963年	エッチング、紙	15.9×10.6	アーツ前橋
5	河口龍夫	発生	1963年	ドライポイント、紙	12.0×16.8	アーツ前橋
6	野村誠	ピアノのための9つの小品「アーツ前橋」2. 演奏者	2013年	楽譜、音	可変	アーツ前橋
	笠木實	演奏者	1993年	油彩、カンヴァス	145.5×97.0	アーツ前橋
7	田中正	秋の空	2013年	ボールペン、色鉛筆、画用紙	90.0×116.0	アーツ前橋
8	田中正	居酒屋(きさく)へのオマージュ	2018年	ボールペン、色鉛筆、水彩、画用紙	92.0×118.0	アーツ前橋
9	高橋武	群	1961年頃	岩絵の具、紙、木製パネル	127.0×187.5×4.4	アーツ前橋
10	長重之	視床	1983年	アクリル絵具、スタイロフォーム、木板	221.0×310.0×4.0	アーツ前橋
11	鈴木のぞみ	Other Days, Other Eyes: 村田邸2階北の窓	2018年	外されていた窓、写真乳剤	89.7×181.0×2.2	アーツ前橋
12	鈴木のぞみ	Mirrors: 割田邸廊下の壁掛け鏡	2017年	使われていた鏡、写真乳剤	44.0×39.0×0.4	アーツ前橋
13	鈴木のぞみ	Mirrors: トラヤの置き鏡	2017年	使われていた鏡、写真乳剤	60.0×35.0×20.0	アーツ前橋
14	小森はるか+瀬尾夏美	声の辿り / 二重のまち	2017年	ビデオ	21分00秒	アーツ前橋
15	熊井淳一	何すんの?	2007年	ブロンズ	10.0×36.8×17.5	アーツ前橋
16	熊井淳一	除角の雄山羊	2012年	ブロンズ、鉄漿	42.0×24.0×28.0 (台13.5×14.8×14.8)	アーツ前橋
17	熊井淳一	餌に届くか	2013年	ブロンズ、鋳造吹きっぱなし	50.0×40.0×18.0	アーツ前橋
18	塩原友子	複眼	1961年頃	パネル、和紙、墨、岩絵具	183.5×183.4	アーツ前橋
19	笠木實	風船を売る男	1994年	油彩、カンヴァス	195.5×98.6	アーツ前橋
20	笠木實	遊蝶の森	1995年	油彩、カンヴァス	116.8×73.0	アーツ前橋
21	塩原友子	題不詳	1961年	パネル、和紙、墨、岩絵具	165.5×184.0	アーツ前橋
22	岩崎孝	コーモリをなおす	不詳	油彩、カンヴァス	93.5×119.2	アーツ前橋
23	岩崎孝	馬鈴薯の列	1987年	油彩、カンヴァス	38.0×45.8	アーツ前橋
24	岩崎孝	話し合う四人	1982年	油彩、カンヴァス	83.2×119.9	アーツ前橋
25	岩崎孝	解けない	1987年	油彩、カンヴァス	119.5×93.6	アーツ前橋
26	三谷慎	JUNKO	1992年	ブロンズ	32.4×15.7×15.4	アーツ前橋
27	村上早	いぞん	2018年	雁皮紙、リフトグランドエッチング、アク アチント、スピットパイト (多色)	118.0×150.0	アーツ前橋
28	村上早	ふるえ	2015年	雁皮紙、リフトグランドエッチング、アク アチント	114.0×166.0	アーツ前橋
29	島岡實	赤い花	1961年	油彩、カンヴァス	69.6×91.0	アーツ前橋
30	島岡實	室内 B	1958年	油彩、カンヴァス	99.5×73.5	アーツ前橋
31	田中朝庸	パニックはいらない	1986年	油彩、カンヴァス	194.0×130.0	アーツ前橋
32	田中朝庸	愛と死とに	2008年	油彩、カンヴァス	130.0×194.0	アーツ前橋

生の軌跡

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横: cm)	所蔵
1	田島弘章	不詳	1962年	インク、紙	12.4×17.8	アーツ前橋
2	田島弘章	作品-G	不詳	インク、紙	17.5×23.4	田島智子氏蔵
3	田島弘章	作品-F	不詳	インク、紙	26.3×26.2	田島智子氏蔵
4	河口龍夫	闇からの誕生	1963年	メゾチント、紙	10.6×14.4	アーツ前橋
5	河口龍夫	闇に潜む浮遊物	1963年	メゾチント、紙	10.6×14.4	アーツ前橋
6	河口龍夫	曖昧なこと	1963年	エッチング、ドライポイント、アクアチント、紙	36.0×19.9	アーツ前橋
7	駒井哲郎	ラジオアクティヴティ イン マイ ルーム	1950年	メゾチント、エンブレヴィン、紙	9.7×8.3	高崎市美術館蔵
8	駒井哲郎	『九つの夢から』 フロントピース	1970年	エッチング、紙	6.5×12.4	高崎市美術館蔵
9	駒井哲郎	『九つの夢から』 向こうの世界の入り 口にうつっているにはつるつるした のっぺらぼうのもの その形状から…	1969年	エッチング、紙	21.7×12.0	高崎市美術館蔵

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横×奥行:cm)	所蔵
10	駒井哲郎	『九つの夢から』深い地底に蹲りつづけたような黒い皮膚をもった、背の低い、無表情な老人が、	1970年	エッチング、アクアチント、紙	16.3×11.9	高崎市美術館蔵
11	駒井哲郎	岩礁にて	1970年	アクアチント、紙	23.9×35.7	高崎市美術館蔵
12	駒井哲郎	『蟻のいる顔』ビケの残像	1973年	アクアチント、紙	23.1×20.9	高崎市美術館蔵
13	駒井哲郎	『蟻のいる顔』街	1973年	アクアチント、紙	23.1×21.0	高崎市美術館蔵
14	砂盃富男	題不詳	1964年頃	油彩、金網、カンヴァス	91.0×116.7	アーツ前橋
15	砂盃富男	私の瞳は闇の中にある	1995年	デカルコマニー、紙	27.0×23.0	アーツ前橋寄託
16	砂盃富男	無題	1994年	デカルコマニー、紙	26.3×22.9	アーツ前橋寄託
17	砂盃富男	無題	1992年	デカルコマニー、紙	25.0×30.5	アーツ前橋寄託
18	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
19	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2010年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
20	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
21	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
22	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2010年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
23	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
24	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2010年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
25	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
26	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
27	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2010年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
28	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
29	廣瀬智央	無題 (ブルードローイング)	2011年	紙にアクリル、オイルマーカー	20.0×15.5	アーツ前橋
30	ジャン・デュビュッフ	壁より	1950年	リトグラフ、紙	51.5×41.0	アーツ前橋寄託
31	ジャン・デュビュッフ	不安な土 (地質学シリーズ)	1959年	リトグラフ、紙	56.5×41.4	アーツ前橋寄託
32	佐藤敬	水音	1963年	油彩、カンヴァス	90.9×72.7	公益財団法人 大川美術館蔵
33	武澤久	背中合せて	1993年	油彩、ヒモ、カンヴァス	162.2×130.3	アーツ前橋
34	掛井五郎	おどけた三人	1993年	油彩、カンヴァス	116.7×116.7	公益財団法人 大川美術館蔵
35	マックス・エルンスト	オマー・ジュ・ランボオ	1961年	エッチング、アクアチント、紙	20.6×15.8	アーツ前橋寄託
36	マックス・エルンスト	パトリック・ワルドベルグ「かわいい仔羊のために」Ⅳ	1971年	リトグラフ、紙	26.7×20.5	アーツ前橋寄託
37	マックス・エルンスト	パトリック・ワルドベルグ「かわいい仔羊のために」Ⅷ	1971年	リトグラフ、紙	20.0×15.8	アーツ前橋寄託
38	瑛九	朝	1956年	エッチング、ルーレット、ドライポイント、紙	24.0×18.0	アーツ前橋寄託
39	瑛九	指の物語	1954年	エッチング、アクアチント、紙	24.0×17.0	アーツ前橋寄託
40	瑛九	題不詳	不詳	エッチング、アクアチント、紙	13.4×9.1	アーツ前橋寄託
41	瑛九	題不詳	不詳	フォトグラム	27.3×21.8	アーツ前橋寄託
42	瑛九	題不詳	1950年	フォトグラム	21.7×27.4	アーツ前橋寄託
43	瑛九	題不詳	1956年	フォトグラム	27.1×21.8	アーツ前橋寄託
44	瑛九	題不詳	1950年	フォトグラム	26.7×22.0	アーツ前橋寄託
45	瑛九	とり	不詳	フォトグラム	26.9×20.2	アーツ前橋寄託
46	瑛九	馬車が行く	不詳	フォトグラム	29.8×24.7	アーツ前橋寄託
47	瑛九	題不詳	1936年	フォトグラム、ペン	30.3×25.1	アーツ前橋寄託
48	瑛九	題不詳	1932年	フォトグラム	30.4×25.2	アーツ前橋寄託
49	瑛九	鳥たち	不詳	フォトグラム	40.2×50.3	アーツ前橋寄託
50	瑛九	題不詳	不詳	フォトグラム	35.3×27.8	アーツ前橋寄託
51	瑛九	題不詳	不詳	フォトデッサン	31.2×25.5	アーツ前橋寄託
52	瑛九	題不詳	不詳	フォトデッサン	30.2×25.0	アーツ前橋寄託
53	瑛九	題不詳	不詳	フォトデッサン	30.3×24.9	アーツ前橋寄託
54	瑛九	題不詳	不詳	ペン、紙	32.5×32.7	アーツ前橋寄託
55	瑛九	題不詳	不詳	ペン、紙	34.3×33.7	アーツ前橋寄託
56	田島弘章	無題Ⅰ	不詳	アクリル板、金属片、ネジ、彩色、板	30.5×45.0×6.0	田島智子氏蔵
57	ソル・ルウィット	長くなく、まっすぐでなく、触れあっていない線	1971年	エッチング、紙	18.0×17.5	アーツ前橋寄託
58	福沢一郎	聖母像	不詳	油彩、カンヴァス	32.0×40.7	アーツ前橋
59	福沢一郎	顔	1957年	リトグラフ、紙	33.6×23.0	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館寄託 (※前期のみ展示)
60	福沢一郎	魚とネオン	1959年	リトグラフ、紙	36.0×50.5	個人蔵 (※前期のみ展示)
61	福沢一郎	鳥の母子像	1957年	油彩、カンヴァス	116.5×91.0	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館蔵
62	福沢一郎	邪馬台国の戦士 (一)	1980年	リトグラフ、紙	53.0×42.0	富岡市立美術館・ 福沢一郎記念美術館寄託 (※後期のみ展示)
63	福沢一郎	夜の鳥	1956年	リトグラフ、紙	56.5×43.0	個人蔵 (※後期のみ展示)
64	村田峰紀	Fuzz #3	2020年	ブロンズ	61.5×61.5×3.0	作家蔵
65	村田峰紀	フェードアウト	2010年	鏡、ポスターカラー、洗剤	63.5×64.0×3.5	作家蔵
66	村田峰紀	filter #4	2021年	強化塩化ビニール板、ボールペン、木材	100.0×100.0×3.0	作家蔵
67	村田峰紀	Scratch the TV	2021年	モニター、ボールペン	58.0×94.0×4.5	作家蔵
68	小泉明郎	無題	2000年	ビデオ、サウンド	2分00秒	アーツ前橋

NO.	作家名	作品名	制作年	技法・材質・その他	寸法 (縦×横×奥行:cm)	所蔵
69	菅野 創+やんツー	SENSELESS DRAWING BOT	2011年	電動スケートボード、鉄、ベアリング、バッテリー、モータ、スプレー、マイクロコントローラ、センサー	可変	個人蔵
70	金子真珠郎	泣く児	不詳	油彩、カンヴァス	64.5×56.9	アーツ前橋
71	金子真珠郎	PHASE (位相)	1963年	石膏、油彩、カンヴァス	53.0×41.2	アーツ前橋寄託
72	金子真珠郎	断片となつて集散する旗と人	1965-67年	油彩、板	118.0×152.0	群馬県立近代美術館蔵
73	鈴木ヒラク	鍵穴 (A)	2018年	反射板、アクリル、木製パネル	131.6×59.0	I氏コレクション蔵
74	鈴木ヒラク	鍵穴 (B)	2018年	反射板、アクリル、木製パネル	131.6×59.0	個人蔵
75	鈴木ヒラク	鍵穴 (C)	2018年	反射板、アクリル、木製パネル	131.6×59.0	作家蔵
76	鈴木ヒラク	鍵穴 (E)	2018年	反射板、アクリル、木製パネル	131.6×59.0	阿久津仁一氏蔵
77	鈴木ヒラク	鍵穴 (F)	2018年	反射板、アクリル、木製パネル	131.6×59.0	個人蔵
78	鈴木ヒラク	Constellation #31	2019年	シルバーインク、墨汁、紙	139.5×105.5	個人蔵
79	鈴木ヒラク	Constellation #17	2017年	シルバーインク、墨汁、紙	139.5×210.0	アーツ前橋
80	鈴木ヒラク	Constellation #44	2020年	シルバーインク、土、アクリル、カンヴァス	227.3×181.8	個人蔵
81	鈴木ヒラク	Interexcavation #20	2019年	シルバーインク、土、顔料、アクリル、カンヴァス	194.0×162.0×30.0	個人蔵
82	鈴木ヒラク	Interexcavation #7	2019年	シルバーインク、土、顔料、アクリル、カンヴァス	194.0×162.0×30.0	個人蔵
83	鈴木ヒラク	Archetype of the City #1 A~I	2017年	反射板、木、アクリル		アーツ前橋/ アーツ前橋寄託
84	加藤アキラ	不詳	1966年	油彩、アルミニウム、ボルト、ナット、塩化ビニール板	125.0×63.5×7.5	アーツ前橋
85	加藤アキラ	記号に向けて	1966-1967年	アルミニウム、油彩	100.0×200.0×5.3	アーツ前橋
86	加藤アキラ	不詳	1966年	油彩、アルミニウム、ボルト、ナット、塩化ビニール板	90.0×90.0×5.0	アーツ前橋
87	武澤久	永遠慕情	1985年	油彩、カンヴァス	162.2×194.0	アーツ前橋
88	津上みゆき	View, a cherry tree, 4-12 Nov.2019	2019年	顔料、アクリル、カンヴァス	194.0×194.0	アーツ前橋
89	山口薫	水門の裏と表	1965年	油彩、カンヴァス	72.8×91.0	群馬県立近代美術館蔵
90	山口薫	沼のある牧場	1964年	油彩、カンヴァス	105.6×255.5	アーツ前橋
91	山口薫	水	1941年	油彩、カンヴァス	79.3×98.0	群馬県立近代美術館蔵
92	榎木陽子	シティーランナー	2010年	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	アーツ前橋
93	オノサトシノブ	コンポジション	1958年	水彩、紙	25.5×35.0	アーツ前橋寄託
94	オノサトシノブ	円 20	1965年	油彩、カンヴァス	76.6×88.3	アーツ前橋寄託
95	塩原友子	ひかり	1990年	顔料、紙、板	162.1×130.0	アーツ前橋
96	塩原友子	曼荼羅 (東西南北)	1985年	顔料、紙、板	143.8×143.5	アーツ前橋
97	田島弘章	不詳	1964年	水彩、蠟、紙	36.0×37.0	アーツ前橋
98	岡本健彦	4つの丸	2010年	油彩、鉛、カンヴァス	102.0×130.0×9.0	アーツ前橋寄託
99	岡本健彦	それぞれの丸	2008年	油彩、鉛、木、カンヴァス、合板	76.0×97.0×16.0	アーツ前橋寄託
100	白川昌生	3×3×3×3	2007年	鉄、バスケットボール、バレーボール、紐、プラスチックケース	250.0×300.0×300.0	アーツ前橋
101	加藤アキラ	EA55-18	1966年	アルミニウム、油彩、ワイヤーブラシ、塩化ビニール板、ボルト、ナット、ラッカー	127.0×127.0	アーツ前橋
102	加藤アキラ	REPORT-EA9	1966年	アルミ、ワイヤーブラシ、塩化ビニール板、ラッカー、油彩	91.0×91.0×9.8	アーツ前橋
103	加藤アキラ	EA24-3	1960年頃	アルミニウム、油彩、ワイヤーブラシ、塩化ビニール板、ボルト、ナット、ラッカー	121.0×121.0	アーツ前橋
104	鬼頭健吾	interstellar	2016年	アクリル、グリッター、LEDライト、カンヴァス	175.0×315.5×12.0	ガトフェスタ ハラダ蔵
105	鬼頭健吾	interstellar	2016年	アクリル、グリッター、LEDライト、カンヴァス	175.0×315.5×11.3	ガトフェスタ ハラダ蔵
106	鬼頭健吾	aquarius	2017年	フラフープ、チェーン、ロープ、ネット、モーター	296.0×140.0×140.0	作家蔵
107	鬼頭健吾	Light in emptiness	2019年	布、木材、アクリル、紙、LED、アクリル板、金属片、プラスチック、ビーズ、革	205.0×81.0	作家蔵
108	鬼頭健吾	Light in emptiness	2019年	布、木材、アクリル、紙、LED、アクリル板、金属片、プラスチック、ビーズ、革	221.0×80.0 115.0×85.0、76.0×55.0、 115.0×80.0、145.0×85.0	個人蔵
109	伊藤存	みえない土地の建築物／前橋	2013年	布に刺繍		アーツ前橋
110	村田峰紀	c-drawing #17	2021年	ベニヤ板、ペンキ、アクリル、ジェッソ、ボールペン、染料、木材	800.0×180.0×3.3	作家蔵
111	白川昌生	弁天通り商店街の光	2014年	黄色に染色された布、写真、アクリル絵の具、鉛筆	42.0×51.5	作家蔵
112	鈴木ヒラク	GENGA #001-#1000 (video)	2010年	シングルチャンネルビデオ	可変	アーツ前橋
113	鈴木ヒラク	道路 (中央)	2016年	反射板、アクリル、木製パネル	105.0×300.0	個人蔵
114	鈴木ヒラク	Constellation #19	2017年	シルバーインク、アクリル、墨汁、土、カンヴァス	270.0×1100.0	アーツ前橋
115	鬼頭健吾	cartwheel galaxy	2021年	アクリル、カンヴァス	140.0×140.0	個人蔵
116	鬼頭健吾	broken flowers	2018年	ミクストメディア	可変	作家蔵
117	武澤久	銀河	1991年	油彩、ヒモ、カンヴァス	162.0×135.9	アーツ前橋
118	アブデルカデル・ベンチャマ、鈴木ヒラク、大原大次郎、華雪、中山晃子、西野壮平、村田峰紀、やんツー、NAZE (スペシャルゲスト)	Drawing Orchestra featuring Abdelkader Benchamma	2021年	パフォーマンス・ライブ映像	1時間40分	作家蔵

関連記事

新聞

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2021/ 4/ 6	上毛新聞	アーツ前橋次期館長巡り 「現代美術の専門家を」 芸術家ら市に要望書	23	アーツ前橋全般
2021/ 4/ 6	毎日新聞	アーツ前橋館長、後任選任で要望 市長に芸術家4人	19	アーツ前橋全般
2021/ 4/ 6	読売新聞	館長の登用で要望書	25	アーツ前橋全般
2021/ 4/ 6	朝日新聞	新館長選任に要望書	23	アーツ前橋全般
2021/ 4/ 7	上毛新聞	「あたご歴史資料館」を後世へ 空襲体験DVDに	21	場所の記憶
2021/ 4/11	上毛新聞	【三山春秋】	1	アーツ前橋全般
2021/ 4/13	上毛新聞	児童が校内に「美術館」 派遣アーティストから刺激	9	アーティスト・イン・スクール
2021/ 4/27	上毛新聞	【旬の人】素材と人に向き合う 彫刻家 西岳弘貴	9	あいつひろば
2021/ 5/ 7	東京新聞	あり方検討委を設置	16	アーツ前橋全般
2021/ 5/12	東京新聞	調査委の客観性問題視	18	アーツ前橋全般
2021/ 5/17	上毛新聞	調査委の客観性 報告書を問題視	16	アーツ前橋全般
2021/ 5/21	上毛新聞	アーツ前橋 無施錠 盗難疑いも	20	アーツ前橋全般
2021/ 5/25	上毛新聞	アーツ前橋作品紛失で市「誤廃棄可能性低い」	21	アーツ前橋全般
2021/ 5/26	毎日新聞	誤廃棄の可能性 市「極めて低い」	23	アーツ前橋全般
2021/ 6/ 1	毎日新聞	アーツ前橋の作品紛失：美評連、美術品紛失で批判声明	20	アーツ前橋全般
2021/ 6/ 4	上毛新聞	LEDで電力48%減 アーツ前橋。蛍光灯交換	18	アーツ前橋全般
2021/ 6/13	上毛新聞	【キーマンの書棚】前橋食堂	11	アーツ前橋全般
2021/ 6/19	上毛新聞	障害者アート 染め上げる 平賢が手拭い、Tシャツに	17	ショップ・カフェ
2021/ 6/25	上毛新聞	アーツ前橋 課題洗い出し 将来像提言へ あり方検討委初会合	21	アーツ前橋全般
2021/ 6/25	毎日新聞	アーツ前橋の作品紛失/アーツ前橋作品紛失 検討委初会合で問題点など共有	19	アーツ前橋全般
2021/ 7/ 1	上毛新聞	22日から再開 展覧会も実施 アーツ前橋	21	アーツ前橋全般
2021/ 8/24	上毛新聞	アーツ前橋で新収蔵作品展 収集の原点立ち返る	7	新収蔵作品展2021
2021/ 8/29	上毛新聞	適正な作品管理、組織運営を議論 アーツ前橋あり方検討委	20	アーツ前橋全般
2021/ 9/11	毎日新聞	「アーツ前橋」設計が銅賞に 京大建築コンペ	21	アーツ前橋全般
2021/ 9/26	上毛新聞 風っこ	誰でも一目でわかるピクトグラム ゴムチューブ使い案内 アーツ前橋	3	アーツ前橋全般
2021/10/ 1	上毛新聞	活動コンセプトや理想の館長像議論 アーツ前橋あり方検討委	20	アーツ前橋全般
2021/10/13	上毛新聞	アーツ前橋作品紛失問題 東京芸大が独自検証委	19	アーツ前橋全般
2021/10/29	上毛新聞	アーツ前橋 提言項目議題に修正点出し合う あり方検討委が最終会合	22	アーツ前橋全般
2021/11/ 8	日本経済新聞	作品紛失 運営ずさんさ露呈 アーツ前橋、情報共有に課題	36	アーツ前橋全般
2021/11/28	上毛新聞	本格ビザ 楽しんで 福祉施設入居者に振る舞う	18	表現の森
2021/12/12	上毛新聞	「表現の森」プロジェクト アートで社会復帰応援	20	表現の森
2021/12/21	上毛新聞	アーツ前橋×キム・ジェミニさんプロジェクト 工場跡走り歴史を心に	8	地域AP
2021/12/22	上毛新聞	アーツ前橋作品紛失問題 盗難の恐れ 市が被害届	23	アーツ前橋全般
2021/12/23	上毛新聞	被害届で前橋市長「いったんけじめ」 アーツ作品紛失	9	アーツ前橋全般
2021/12/23	読売新聞	美術品被害届提出	27	アーツ前橋全般
2021/12/28	日本経済新聞	作品紛失 再発防止へ提言書		アーツ前橋全般
2021/12/28	朝日新聞	美術品の館内保管や職員の情報共有提言 アーツ前橋あり方検討委員会	17	アーツ前橋全般
2021/12/31	読売新聞	「アーツ前橋」問題 検討委が提言書退出	21	アーツ前橋全般
2022/ 1/ 9	上毛新聞	カラフル手芸明るく アトリエART・ON「の一密」展	19	アーツ前橋全般
2022/ 1/21	東京新聞	危機管理のプロセス「おかしかった」アーツ前橋、作品紛失問題 検討委が提言書	16	アーツ前橋全般
2022/ 2/ 1	上毛新聞	市内外から意見募集 再発防止、活動模索で	20	アーツ前橋全般
2022/ 2/ 3	上毛新聞	アーツ前橋検討委が提言 応援団増やす努力を	6	アーツ前橋全般
2022/ 2/11	上毛新聞	松田さん(京都)展示会 滞在で感じた絵画、陶芸15点	18	滞在制作
2022/ 2/11	朝日ぐんま	【文化紀行】多様な「生の軌跡」と出会う機会に 「生の軌跡-Traces of Life-」	3	生の軌跡
2022/ 3/ 4	上毛新聞	「生の軌跡」展で動画配信 制作風景 作家が解説	18	生の軌跡

雑誌・冊子

掲載日	掲載紙	記事名	ページ数	関連事業名
2021/ 7/12	【アートのある町を旅しよう】前橋をおもしろくする注目スポット	Ozmagazine	105	アーツ前橋全般
2021/12/25	生の軌跡	アートコレクターズ	132	生の軌跡
2022/ 1/20	生の軌跡	美術の窓 1月号 No.460	147	生の軌跡

ウェブサイト

掲載日	掲載サイト	記事名	関連事業名
2021/ 6/ 6	弁護士ドットコムニュース	美術界が揺れる「アーツ前橋」作品紛失問題、前橋市と前館長が激しい対立	アーツ前橋全般
2021/ 6/10	web版美術手帖	アーツ前橋の作品紛失問題はなぜここまでこじれたのか。美術館の運営状況から見てきた労務問題も。	アーツ前橋全般
2021/ 7/22	web版美術手帖	休館していたアーツ前橋が再開。「新収蔵作品展2021」で立ち返る館の理念	新収蔵作品展2021
2021/ 8/30	ゲンロンα	日付のあるノート、もしくは日記のようなもの(8) 未来の芸術と倫理のため?—7月30日から8月27日 田中功起	アーツ前橋全般
2021/ 9/ 1	Art Asia Pacific	Missing Artworks Raise Accountability Issues at Japanese Museum	アーツ前橋全般
2021/ 9/ 3	弁護士ドットコムニュース	「アーツ前橋」作品紛失、市から責任指摘された前館長が反論「原因が調査されていない」	アーツ前橋全般
2021/12/22	web版美術手帖	アーツ前橋の作品紛失について前橋市が被害届を提出。追加調査で高まる盗難の可能性	アーツ前橋全般
2022/ 1/19	web版美術手帖	響き合うコレクションに託す館の未来。アーツ前橋で「『生の軌跡』—Traces of Life」が開催中。	生の軌跡

アーツ前橋年報 No.9

2022年8月発行

発行者 アーツ前橋

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町5-1-16

TEL 027-230-1144

MAIL artsmaebashi@city.maebashi.gunma.jp

URL <https://artsmaebashi.jp>

フォトクレジット

◉KIGURE Shinya p.6、7、12左下、17、20、22上、24上、27右下

◉ICHINEI Naoki p.18